

点鼻ワクチン「フルミスト」について

インフルエンザ集団接種における2歳以上～18歳の方の接種には、痛みが少なく1回で接種を終えることができる、点鼻ワクチン「フルミスト」を使用します。

「フルミスト」ってどんなワクチン？



接種方法	点鼻（0.1ml とごく少量の接種液を鼻に噴霧します）
接種回数	1 回
ワクチンの種類	生ワクチン
接種できる年齢	2 歳以上～18 歳（19 歳未満）
メリット	・痛みや恐怖感が少なく、1 回接種で済むため、お子さんへの負担を減らすことができます。 ・ウイルスの侵入口である鼻やのどに免疫が誘導されるため、感染予防の効果が期待されている他、効果の持続期間も従来のワクチンよりも長く続くと言われています。 ※インフルエンザ全体の予防効果は注射ワクチンと同程度と言われています。

※対象年齢以外の方（1 歳～2 歳未満、19 歳以上）は、注射によるワクチン接種となります。

※点鼻ワクチンを接種できない方（下記をご確認ください）、従来の注射ワクチンを希望される方についても、注射ワクチンを接種します。

フルミストを接種できない方、接種に注意が必要な方

<接種できない方>

点鼻ワクチンは接種できません

- ・明らかな発熱がある方、重篤な急性疾患にかかっている方
- ・本剤の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する方、免疫抑制をきたす治療を受けている（いた）方
- ・副腎皮質ホルモン剤（経口または注射）を使用している方
- ・妊娠している方

<接種に注意が必要な方>

点鼻ワクチンの接種が可能か、事前にかかりつけ等でご相談ください

- ・ゼラチン含有の製剤や食品に対して、ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管性浮腫等）等の過敏症の既往のある方
- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方
- ・予防接種後 2 日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ・けいれんの既往のある方
- ・過去に免疫不全の診断がなされている方、近親者に先天性免疫不全症者がいる方
- ・重度の喘息がある方、または喘鳴の症状がある方
- ・本剤の成分または、鶏卵・鶏肉・その他鶏由来のものに対してアレルギーを起こすおそれのある方
- ・腎機能障害、肝機能障害のある方
- ・生殖能を有する方
 - ※妊娠可能な女性は、あらかじめ 1 か月間避妊した後接種すること。接種後、約 2 か月間は妊娠しないよう注意すること。
- ・授乳中の方
 - ※治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮した上で、授乳の継続又は中止を検討すること。
- ・サリチル酸系医薬品（アスピリン、サリチル酸ナトリウム等）、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用中の方

フルミスト Q&A

Q. 鼻水が出ていても接種できますか？ また、接種後にくしゃみをしたり鼻をかんでしまったら、再接種が必要ですか？

A. 鼻づまりや鼻水がひどい場合は、接種の効果が十分に得られない場合があるため、別日での接種（または注射での接種）を勧められる場合があります。接種後にくしゃみ等をしてしまっても、再接種の必要はありません。

Q. のどに垂れてきた接種液を飲み込んでも大丈夫ですか？

A. 飲み込んでも問題ありません（ワクチン内の弱毒ウイルスは胃酸で死滅します）。

Q. 接種後の副反応にはこういったものがありますか？

A. 副反応として、鼻水・鼻づまりなどが約半数に、その他発熱や咳、のどの痛み、頭痛、筋肉痛、下痢等のかぜ症状が数％程度の方にみられることがありますが、数日で改善します。他のワクチンと同様、ごくまれにアレルギー反応を起こす可能性があります。

Q. 副反応以外で接種後に注意することはありますか？

A. ①接種後、鼻にワクチン由来のウイルス（弱毒化されたもの）が残存し、水平伝播を起こす可能性があります。そのため、接種後 1～2 週間は重度の免疫不全者や授乳婦、乳児との接触は可能な限り避ける必要があります。

②接種後に抗インフルエンザウイルス薬を使用した場合、ワクチン効果が減弱する可能性があります。また、接種後少なくとも 1 週間程度は、インフルエンザの迅速検査で陽性反応を示す可能性があります。

Q. フルミストと別のワクチンとの接種間隔はどれくらいあける必要がありますか？

A. 接種間隔の規定はありません。ただし、副反応が出た場合にどのワクチン由来のものなのかを判別するために、特に他の生ワクチンを接種する場合には、数週間程度、間隔をあけることをお勧めします。